

自主参加型国内排出量取引制度
算定報告書【別添4-2】
公募申請用

排出削減実施事業者名	ABC工業株式会社
報告年度	2005.4.1～2006.3.31

算定報告書【別添4-2記入例】

I. 排出源リスト

排出源 No.	排出源	排出源の種類 (①～④)	算定対象有無 (○ or ×)	対象外とする理由		排出源の洗い出しの根拠	備考
				(A～D)	「その他」の理由		
1	中央受電所	②	○			事業所内設備配置図を基に排出源を特定。	
2	ボイラー (No.1 ~ No.4)	①	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
3	No.1 溶融炉	①	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
4	No.2 溶融炉	①	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
5	生石灰製造用ロータリーキルン	④	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
6	北変電所	②	○			事業所内設備配置図を基に排出源を特定。	
7	廃棄物焼却炉	③	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
7	廃棄物焼却炉	①	○			事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	助燃用としてA重油を使用
8	コージェネレーション設備	①	○			事業所内設備配置図を基に排出源を特定。	
-	非常用発電機	①	×	A		事業所内設備配置図を基に排出源を特定。	
-	ガソリンスタンド	①	×	A		事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	
-	原子吸光度計分析装置	①	×	A		調達購入品リストから特定。	分析時にアセチレンを使用
-	廃水処理施設	①	×	A		事業所内設備配置図及び環境側面抽出表を基に排出源を特定。	

【記入上の注意事項】

- 1) 排出源の種類を以下から選択すること(詳しくは実施ルール「3. 排出量の算定方法」を参照)。
 - ①燃料の使用に伴うCO₂排出 ②電気・熱の使用に伴うCO₂排出 ③廃棄物の焼却・使用等に伴うCO₂排出 ④工業プロセスに伴うCO₂排出
- 2) 対象外とする理由は以下から選択すること。
 - A:少量排出源に該当する為 B:工場・事業場外における移動排出源の為 C:電気・熱を全て外部へ供給している為 D:その他(具体的に記入)
- 3) 少量排出源に該当する場合においても、削減対策実施年度に排出量の大幅な増加が想定されている場合には、算定対象となる点に留意すること。
- 4) 「排出源の洗い出しの根拠」には、排出源を洗い出すにあたって用いた図面や設備リスト等を記入すること。
- 5) 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. モニタリング方法

排出原 No.	モニタリング 対象となる データの種別	燃料、電気、熱、廃棄 物又は原料	単位	データ取得方法		エビデンス (根拠とした伝票類、 ルール等)	データ取得頻度	測定機器			単位発熱量		排出係数		担当者	責任者	備考	
				購買 または 実測	「実測」の方法			製造メーカー	型式	有効期間または設置年月日	データ取得方法		データ取得方法					
											デフォルト値、 実測値、 その他	エビデンス	デフォルト値、 実測値、 その他	エビデンス				
1	活動量	系統電力	kWh	購買	■ 入力不要 ■	電力使用量のお知らせ	1回/月	●●電機(株)	××-▲▲▲	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	—	—	デフォルト値	■ 入力不要 ■	山田太郎	市田博文	
2	活動量	灯油	l	購買	■ 入力不要 ■	●●請求書	1回/月	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	山田太郎	市田博文	
2	ストック量	灯油	l	実測	■ 実測用尺	灯油タンク点検記録	1回/月	(株)■製作所	●●-××	1985年6月22日	設置年月日	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	吉田幸次	島村俊之	
3	活動量	都市ガス	m3	購買	■ 入力不要 ■	都市ガス使用量のお知らせ	1回/月	(株)▲製作所	■-××●	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	実測値	●●ガス(株)成分分析結果	デフォルト値	■ 入力不要 ■	山田太郎	市田博文	
3	活動量	産業用蒸気	GJ	実測	■ 蒸気温度計	蒸気温度計	1回/日	●×工業(株)	×-▲▲	1992年10月26日	設置年月日	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	佐藤文彦	長谷川造	
4	活動量	A重油	l	実測	●●流量計	流量点検記録	1回/日	××製作所(株)	▲▲-■	2007年3月1日	有効期間	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	山下忠志	長谷川造	
4	ストック量	A重油	l	実測	■ 量器用尺	重油タンク点検記録	1回/月	(株)■製作所	□□-××	1985年4月16日	設置年月日	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	吉田幸次	島村俊之	
5	活動量	石灰石(生石灰の製造)	kg	実測	■ トラックスケール	石灰石搬入記録	1回/日	(株)●●製作所	●×-▲▲	2008年7月4日	有効期間	—	—	実測値	品位分析記録	橋本修	上川寛治	
5	活動量	ドロマイト(生石灰の製造)	kg	購買	■ 入力不要 ■	ドロマイト納入伝票	1回/月	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	■ 入力不要 ■	—	—	デフォルト値	■ 入力不要 ■	橋本修	上川寛治	
6	その他用途への 使用量	系統電力	kWh	実測	■ 精密電力量計	月次電力使用記録	1回/月	●●電機(株)	□□-▲▲▲	2008年10月5日	有効期間	—	—	デフォルト値	■ 入力不要 ■	吉田康治	船橋康雄	
7	活動量	炭合成繊維	kg	実測	■ コンスタントフィードウエア	焼却炉運転日誌	1回/日	××●製作所(株)	▲▲-××	2007年9月6日	有効期間	—	—	デフォルト値	■ 入力不要 ■	鈴木悟	水上五郎	
7	活動量	A重油	l	実測	××流量計	焼却炉運転日誌	1回/日	××製作所(株)	▲▲-●●	2007年9月6日	有効期間	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	鈴木悟	水上五郎	廃棄物焼却炉の助燃用として使用。
8	活動量	A重油	l	実測	××流量計	流量点検記録	1回/月	××製作所(株)	▲▲-●●	2007年9月6日	有効期間	デフォルト値	■ 入力不要 ■	デフォルト値	■ 入力不要 ■	和田一浩	戸田勤	

【記入上の注意事項】
 1) 設備電力量データによって把握している場合、電気及び都市ガスのメータのみ「測定機器」欄に記入すること。活動量を購買データ以外で把握している場合は、活動の種類を問わず「測定機器」欄に記入すること。
 2) 「単位発熱量」や「排出係数」について「その他」を選択した場合(つまり、「デフォルト値」や「実測値」以外の場合)、出典や算出方法を「エビデンス」欄や「備考」欄に記入すること。

算定報告書【別添4-2】

III-2. 燃料の使用に伴う排出(コージェネレーション設備)

(1)コージェネ設備における燃料使用に伴う排出

排出源No. (コージェネ設備)	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m ³ N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m ³ N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	排出量 [t-CO ₂]	備考
8	A 重油	156	kl	39.1	0.0693	422	
計						422	

(2)コージェネレーション発電に対するクレジット交付量

発電量 [kWh]	コージェネ係数 (固定値) [t-CO ₂ /kWh]	クレジット交付量 [t-CO ₂]
38,825	0.00021	8

【記入上の注意事項】

1) 燃料使用量、発電量、クレジット交付量はそれぞれの量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。排出量については、排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入す

算定報告書【別添4-2】

III-3. 燃料の使用に伴う排出(工場・事業場外に供給した電気・熱の発生に係る排出) 実施ルールp28

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量[kWh]	外部供給電力量[kWh]		所内消費熱量[GJ]	外部供給熱量[GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量[t-CO ₂]

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量[kWh]	外部供給電力量[kWh]		所内消費熱量[GJ]	外部供給熱量[GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量[t-CO ₂]

排出源No.	燃料の種類	燃料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	単位発熱量 [GJ/t, kl, 千m3N]	排出係数 [t-CO ₂ /GJ]	備考
	所内消費電力量[kWh]	外部供給電力量[kWh]		所内消費熱量[GJ]	外部供給熱量[GJ]	計上すべき所内CO ₂ 排出量[t-CO ₂]

計

【記入上の注意事項】

- 1) 工場・事業場外に供給した電気・熱の発生に係るCO₂の直接排出については、実施ルール6.1を参考に計算すること
- 2) 燃料使用量、所内消費電力量、外部供給電力量、所内消費熱量、外部供給熱量はそれぞれの量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 3) 欄が足りない場合には追加して記入すること

算定報告書【別添4-2】

IV. 電気・熱の使用に伴う排出

(1) 電気事業者から供給された電気の使用

排出源No.(系統電力)	電気使用量 [kWh]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /kWh]	排出量 [t-CO ₂]	備考
1	23,978,000	0.000391	9,375	
6	612,894	0.000391	-239	北変電所から(株)玲温商事に供給した電力量
		0.000391		
計			9,136	

【記入上の注意事項】

- 1) 電気使用量は使用量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 欄が足りない場合には追加して記入すること

(2) 熱供給事業者から供給された熱の使用

排出源No.(熱供給)	供給形態 (①~④)	熱使用量 [GJ]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /GJ]	排出量 [t-CO ₂]	備考
3	①	4,568	0.06	274	
計				274	

【記入上の注意事項】

- 1) 熱使用量は使用量単位で1GJ未満は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 供給形態は以下より選択して番号を記入すること:
①産業用蒸気 ②温水 ③冷水 ④冷水 ⑤蒸気(産業用以外)
- 3) 欄が足りない場合には追加して記入すること

算定報告書【別添4-2】

V. 廃棄物の焼却に伴う排出

廃棄物の焼却及び製品の製造用途への使用、廃棄物燃料の使用に伴う排出

排出源No.	廃棄物焼却・使用量 [t]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t]	排出量 [t-CO ₂]	備考
7	114	2.29	261	
計			261	

【記入上の注意事項】

- 1) 廃棄物焼却・使用量は焼却・使用量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること
- 2) 外部委託分は算定の対象外とする

算定報告書【別添4-2】

VI-1. 工業プロセスに伴う排出

活動	原料の種類	排出源No.	原料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m ³ N]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t, kl, 千m ³ N]	排出量 [t-CO ₂]	備考
セメントの製造	クリンカ				0.510		
生石灰の製造	石灰石	5	9,630	t	0.428	4,122	
	ドロマイト	5	12,240	t	0.449	5,496	
石灰石及び ドロマイトの使用	石灰石				0.440		
	ドロマイト				0.471		
ソーダ灰の製造	CO ₂				1		
ソーダ灰の使用	ソーダ灰				0.415		
アンモニアの製造	石炭				2.4		
	ナフサ				2.3		
	石油コークス				3.3		
	液化石油ガス(LPG)				3.0		
	液化石油ガス(LNG)				2.7		
	天然ガス(LNG除く)				2.1		
	コークス炉ガス				0.85		
	石油系炭化水素ガス				2.3		
計						9,617	

記入例

【記入上の注意事項】

1) 原料使用量は使用量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること

算定報告書【別添4-2】

VI-2. 工業プロセスに伴う排出

活動	原料の種類	排出源No.	原料使用量	使用量単位 [t, kl, 千m3N]	排出係数(固定値) [t-CO ₂ /t]	排出量 [t-CO ₂]	備考
シリコンカーバイドの製造	石油コークス				2.3		
カルシウムカーバイドの製造	石灰石起源				0.76		
	還元剤起源				1.1		
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	アセチレン使用量				3.4		
エチレンの製造	エチレン使用量				0.028		
粗鋼の製造における電気炉の使用	電気炉における粗鋼生産量				0.0050		
ドライアイスの使用	ドライアイス使用時のCO ₂ 排出量				1		
噴霧器の使用	噴霧器の使用時のCO ₂ 排出量				1		
計							

【記入上の注意事項】

1) 原料使用量は使用量単位で少数第一位以下は切り捨てとし、整数値で記入すること。また、排出量についても排出源ごとに算定して1t-CO₂未満は切り捨てとし、整数値で記入すること

算定報告書【別添4-2】

VII. 合計CO₂排出量

活動の区分		排出量[t-CO ₂]
III-1	燃料の使用に伴う排出	5,126
III-2 (1)	燃料の使用に伴う排出(コージェネレーション設備)	422
III-3	燃料の使用に伴う排出(工場・事業場外に供給した電気・熱の発生に係る排出)	0
IV	電気・熱の使用に伴う排出	9,410
V	廃棄物の焼却に伴う排出	261
VI-1	工業プロセスに伴う排出	9,617
VI-2	工業プロセスに伴う排出	0
排出量合計(a)		24,836
III-2 (2)	コージェネレーション発電に対するクレジット交付量(b)	8
コージェネクレジット調整後の排出量 (a)-(b)		24,828

算定報告書【別添4-2】

VIII. 任意報告

排出源	排出量[t-CO ₂ 換算]	備考
非 常 用 発 電 機	8	施設メンテナンスのため年に2回使用
ガ ソ リ ン ス タ ン ド	12	場内車輛の給油に使用
原 子 吸 光 光 度 計	1	分析時にアセチレンを使用
廃 水 処 理 施 設	6	活性汚泥処理によるメタンの発生
廃 水 処 理 施 設	4	活性汚泥処理によるN ₂ Oの発生

【記入上の注意事項】

- 1) 算定対象外の排出量についてはこのシートに記入してください
- 2) 排出量は概算でも結構です